

# 事業報告

## 結成大會

四

- 一、日時 十月二十七日 夜七時 一、場所 戸畑市清水町四 海員ホ一ム
- 一、出席 海員組合戸畑支部(八名) 戸畑海友同志會(五名) 海員組合門司支部(八名) 門司海友同志會(五名) 山口縣海友同志會(五名) 日本労働總同盟九州聯合會(十五名) 海員協會若松支部(五名) 日本製鐵労働組合聯合會(五名) 職夫労働組合(三名) 博多灣従業員組合(三名) 官業労働總同盟同志會(臨時) 計 六二代議員(司會者)
- 一、開會之辭 (司會者指名) 西向太郎
- 一、議長選舉 (着席) 議長 嶋津重藏(鐵聯) 副議長 土田保一(海協) 嶋津重藏(鐵聯) 大會議記 緒方實(海組) 奥村光夫(總同)
- 一、議長挨拶 (着席) 同 奥村光夫(總同)
- 一、大會委員の選任 大會議員長 土田保一 委員 増原操(海組) 白木清三(總同) 石橋和(職勞)
- 一、祝詞、祝電の披露 祝電 下關運輸労働組合、社會大衆黨本部、社會大衆黨門司支部、全日本港灣従業員組合聯盟、海員組合本部、東電従業員組合、海員協會本部
- メッセージ 日本労働組合會議々長 濱田國太郎(朗讀) 柳井銀藏(祝詞演說 黒木本藏(社會大衆黨福岡縣支部聯合會)

一、資格審査に關する大會委員長の報告(別項出席代議員資格承認)  
 一、結成經過報告

土田保一(海協)  
 伊藤卯四郎(總同)

労働立法促進委員會並日本労働俱樂部の地方的機關として結成されてゐた労働組合九州協議會が日本労働組合會議結成に伴つて、それと同一精神の地方機關として九州地方労働組合會議へ改組される必然を説き、日本労働組合會議結成大會概況、宣言、規約の核心並日本造船労働聯盟の組合會議脱退の経緯(本部機關誌「組合會議時報」創刊號参照)及既報・労働組合九州地方協議會(十月十四日夜開催)の議事内容、規約原案の骨子となる申し合せ等に就いて報告す。

質

久保時造(總同)

一、労働組合九州協議會には佐世保の海軍聯盟が参加してゐたのに本會議に参加せざりし理由。

應

伊藤卯四郎

イに就いては、海軍聯盟は組合會議に参加してゐないので組合會議の地方的延長機關である本會議への参加を勧誘しなかつた。

ロに就いては、資本家の御先棒をかついだり、提灯持ちをしたりしてゐる裏切者は造船労働聯盟加入の組合員大衆諸君ではなく神野信一である。松岡、米窪の兩君が神野君を慰留したのは、彼の言ひ分を充分に聽きとつて、階級的に且つ労働組合運動の本流に立つて辯駁し、彼等の卑劣なる本質を糺明するためであると思ふ。

一、大會 議事 (質問を打ち切り、報告を満場一致承認する。)

イ、九州地方労働組合會議規約審議の件(原案は代議員一同へ配布)

説明 伊藤卯四郎(總同)

(提出原案を左の如く修正して満場一致可決す)  
 原案第五條の全文を抹殺して、左の如く變更

五